

2019（令和元）年度大学評価シンポジウム

<プログラム>

- 開催日時：2020（令和2）年1月31日（金）13:00～17:00
- 開催場所：アルカディア市ヶ谷（市ヶ谷）
- 参加対象：大学評価委員会委員候補者、大学評価分科会委員登録者（2019～2020年度）、大学財務評価分科会委員登録者（2019～2020年度）、大学評価委員会幹事
- テーマ：あらためて問うピアレビュー—大学の発展につながる評価に向けて—

《開催趣旨》

大学評価には企業関係者など各種のステークホルダーも参加していますが、中心を担っているのは大学の教職員というピア（peer）であり、こうしたピアによる評価については、その見識によるところが大きく、その在り方等については、常に問い返しそれぞれの認識を深めていくことが重要です。一方で、平成30年度から開始した大学評価も3年目を目前とした現在においても、大学の長所や特色、固有の課題を踏まえた提言を行うことの難しさなどの状況が見えています。

そこで、今シンポジウムは、大学基準の趣旨や大学評価の特徴・基本的原理等についての講演や、評価経験者による報告・パネルディスカッションを行っていきます。そのことにより、改めてピアレビューの意味を再確認しつつ、チームとして評価をやりとげ、その大学に沿った評価を行っていくこと、そして、翻ってその経験を自大学の振り返りにも繋げていくことなどについて認識を深めていきます。

（敬称略）

13:00 ~ 13:05	開会挨拶
13:05 ~ 13:35	事務局説明 「大学基準協会の評価の概要」 薦 美和子（大学基準協会評価事業部評価第1課長）
13:35 ~ 14:25	基調講演 「ピアレビューとしての大学評価の役割」 圓月 勝博（基準委員会委員長・同志社大学学長補佐・文学部教授）
14:25 ~ 14:55	報告① 「評価を受ける側から評価をする側へ—目的・プロセス・手段の理解と共有」 岩野 雅子（大学評価委員会委員、山口県立大学大学院国際文化学術研究科長）
14:55 ~ 15:25	報告② 「評価者を経験して～事務職員としての立場から～」 安田 政志（大学評価分科会委員・帝塚山大学学長室課長）
15:25 ~ 15:40	休憩
15:40 ~ 17:00	パネルディスカッション・質疑応答 「ピアレビューアーとしてあるべき姿勢、もつべき考え方とは」 パネリスト： 圓月 勝博 岩野 雅子 安田 政志 薦 美和子 コーディネーター：工藤 潤（大学基準協会事務局長）